

緊急地震速報を見聞きしたら！！ ～あわてずに、まずは身の安全を確保する～

緊急地震速報 この秋スタート！

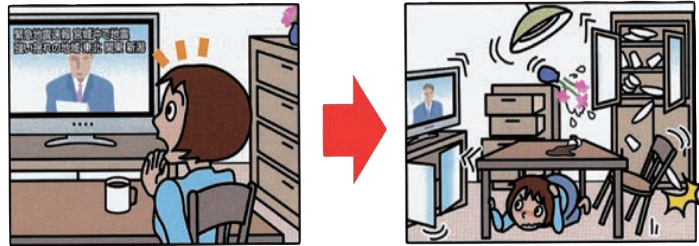
～大地震に襲われるその前に～

7月16日に発生した新潟県中越沖地震は、マグニチュード6・8という非常に強烈な地震でした。その猛威は死者11人、重軽傷者は約1,300人にのぼり、全壊家屋は949棟、半壊家屋は258棟という甚大な被害を及ぼしました。また、柏崎刈羽原発では火災が発生したり、放射能を含んだ冷却水が海へ流れ出すなど、深刻な被害が心配されます。

私たちが住む日本列島は、いくつものプレート上であり、いつ大規模な地震が発生してもおかしくない状態です。

家庭では

- 頭を保護して、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。



屋外では

- ブロック塀の倒壊に注意！
- 看板や割れたガラスの落下に注意！
- ビルの側から離れる。



山のふもとなどでは

- 落石やがけ崩れに注意！



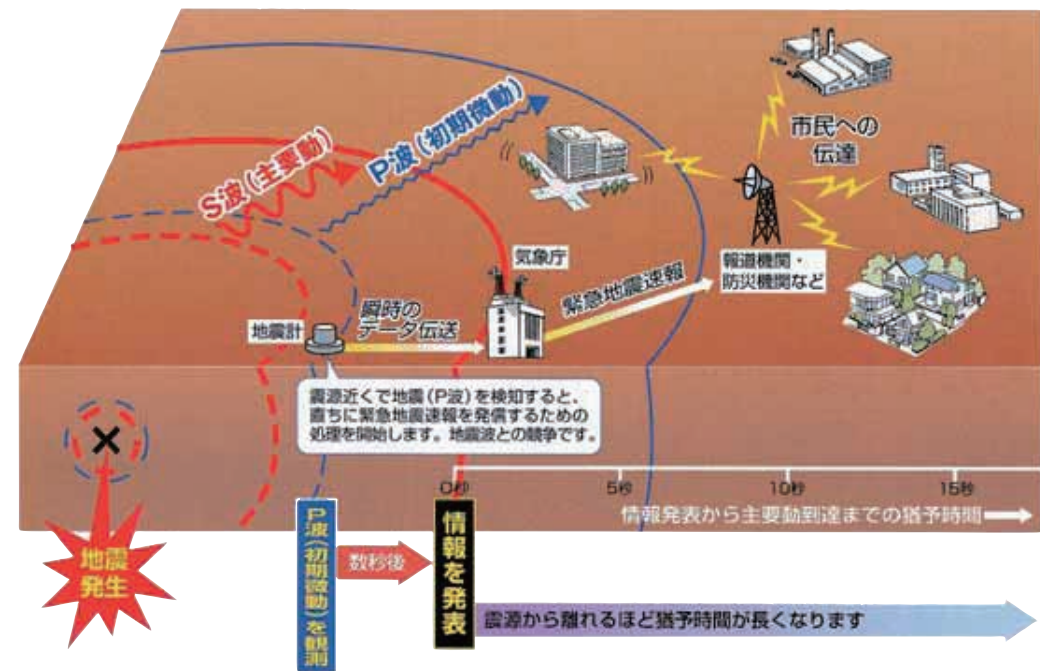
自動車運転中では

- あわててブレーキをかけない！
- 揺れを感じたら、ハザードランプを出し、ゆっくりと停車する。



バス乗車中は

- つり革や手すりにしっかりつかまる！



気象庁では、10月1日から、より震源に近い観測点で地震を検知し、ただちに震源、マグニチュード、各地の震度などを推定し、大きな揺れが到達す

る前にその情報を「緊急地震速報」として提供します。これは、地震の揺れの波(地震波)には、P波(初期微動)とS波(主要

動)があり、最初にP波が伝わり、次に大きな被害をもたらすS波が伝わることを利用するものです。

緊急地震速報は、このP波とS波の伝わる時間差を利用して、地震の発生およびその規模を素早く知り、地震による強い揺れが来ることを、強い揺れが始まる数秒から数十秒前にお知らせすることを目指しています。例えば住民の皆さんに、「大きな家具などから離れ、丈夫な机の下などに隠れる」などの避難行動を促すことによって、被害を少しでも減らすというものです。

減災効果が期待される事例

- ◎ 列車やエレベーターの自動制御による緊急停止
- ◎ 医療機関における手術など、治療の一時中断や患者の安全確保。
- ◎ 倒壊の可能性がある家屋からの避難

緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかありません。その短い間に、あわてず、身の安全を第1に考えて行動しましょう。